

1-12

地域高齢者向け食事サービス「ホームDEランチ」

地域福祉の核となることを目指して

地域サービス

食事サービス

養護老人ホーム

大森老人ホーム

おおもりほんちようこうれいしやざいたく

大森本町高齢者在宅サービスセンター

柴田由紀子

今井干陽

大田区大森本町2-2-2

TEL 03-3762-8790

E-mail oomori_home@triton.ocn.ne.jp

FAX 03-3762-8920

URL http://www6.ocn.ne.jp/~sousei4/

地域高齢者向け食事サービス

大田区にある定員130名の養護老人ホーム。区立高齢者在宅サービスセンターが併設。建物は都住や体育館、児童館等がある複合施設の一部。平成17年より、地域福祉の核となるべく地域推進事業を立ち上げる。食事サービスはその一環。他パソコン教室やそろばん教室、区の催しなどにも参加。施設設備開放も行う。

〈取り組んだ課題〉

- 1・地域独居高齢者や障害者の方にホームに来ていただき、食事を召し上がっていただく。
2. 利用者と同じ食堂で食事を提供する為、ホーム利用者への理解と協力を得る
- 2・近隣老人クラブ、町会へのPR
- 3・給食調理労務委託業者の協力
- 4・予約方法
- 5・利用料金の確定

〈具体的な取り組み〉

- 利用者全体懇談会等で利用者に主旨・内容説明実施
- 平成16年8月、近隣三町会の代表を集め地域交流懇談会開催 施設活動紹介、同9月、より食育をテーマに「知って得する食べ方教室」を開催し地域の方々を対象に施設の食事紹介食生活の講和実施
- 平成17年2月に給食体験食事会を実施、同6月より食事サービス試行実施
1食450円 週1回（曜日を变えて）
- 平成18年度より本格実施
- 施設関係部署・給食委託業者との協議の上、要項作成、同取り扱い確認のもと実施
- 事務システムの簡素化・配置職員の労力削減を図りながら、利用者の昼食材料費を基本として人件費・事務費を含めて1食450円、1回20名迄、予約制で週1回実施。
配置職員は ホーム・在宅サービスセンター職員1名と栄養士で実施し、現在に至っている。

〈活動の成果と評価〉

- 町会の全面協力、口コミにより、回数を重ねる毎に、参加者が増え、試行時10人前後から、18年度実績は、44回実施延べ数も713名となる。
- 平成19年4月現在、毎回平均20名以上の参加者があり、大変好評である。
- その他に、食に関する勉強会として「食べ方倶楽部」を定期的に開催し、18年度は61名の参加実績あり。施設活動への参加も見られる

評価としては、以下の事があげられる。

- 食堂で利用者と一緒に食事をすることでホーム利用者とのコミュニケーションと、活性化が図れること。
- 参加者同士の交流の場ともなった
- 四季を通じて施設の様子を地域の方にも理解して頂けたと共に、施設の余暇活動、イベントへの参加もされるようになった

〈今後の課題〉

- 今年度は人数増加に伴い、開催の曜日を拡大実施したい。更に行事食への参加等へも拡大させたい
- 各町会単位での会合等の使用を促していきたい。
- 今後も施設資源を有効に使って、労力削減を図りながら、よりたくさんの地域の方の食のサポートをしながら、地域コミュニティの場として、定着させていきたい